

研修会報告

令和元年 9 月 21 日（土） 文責：目黒 清可

研修会名：「1 人でもサーベイでも怖くない！～実症例によるスライドカンファレンス～」

日 時：令和元年 9 月 21 日（土） 13：30 ～ 17：10（受付 13 時～）

会 場：仙台市立病院（本院 3 階第 2 会議室）

【プログラム】

○講演 1 13：30～14：00

テーマ：「尿中有形成分分析装置のデータ、出力される情報の見方」

講師：シスメックス株式会社 学術 篠原由樹 先生

○講演 2 14：05～15：05

テーマ：「なんか変？からの細胞鑑別！正常を知って異型を見る。」

講師：東北大学病院 診療技術部 検査部門 金沢 聖美 技師（宮臨技一般検査部門員）

15：05～15：20 休憩

○講演 3 15：20～16：20

テーマ：「髄液細胞編」

講師：仙台市立病院 臨床検査科 白井 竜二 技師（宮臨技一般検査部門員）

日臨技生涯教育研修制度：専門 20 点

参加者：会員 37 名、非会員 2 名、実務員 6 名（講師 2 名含む）、講師 1 名

計 46 名

【内容】

講演 1 では、シスメックス株式会社の篠原先生より、尿中有形成分分析装置のデータ、出力される情報の見かたについて、本県でも多くの施設が導入している UF シリーズを例としてご教授いただいた。

講演 2 では、東北大学病院の金沢 聖美技師より、尿沈渣中に出現する上皮細胞について、基本～異型細胞の鑑別方法、さらに尿中に腫瘍細胞が出現する疾患の組織型で大部分を占める尿路上皮癌について詳細に解説していただいた。

講演 3 では、仙台市立病院の白井 竜二技師より、髄液の採取時の注意点、出現する細

胞の鑑別方法をわかりやすく解説していただいた。

今回の研修会には、若手（3年未満）、中堅（3年以上10年未満）の方、他部門と兼務されている方が多く参加されていたが、講演2、3の2講演では上記の講演に加え、各講師が実際に経験した症例を呈示していただき、スライドカンファレンス形式の講義をしていただいた。参加者自身で考え・答えることで、より理解を深めることができたと考えられる。また、尿沈渣のスライドカンファレンスについては、各細胞の特徴ごとにまとめた問題構成であったため経験10年以上の参加者の方も自身の弱点を見つける機会になったと思われる。

今後の研修会においては、記載して頂いたアンケート結果を基に、県内の検査技師の要望を伺いながら専門的知識の向上に向け有用な研修会を企画していきたい。。。